

もう、一人で悩まないで  
児童虐待ドラマ「やさしい花」上映会  
頑張るママたちに 贈る言葉 があります

日時：平成28年7月3日（日）13：30～15：33

場所：瓦町FLAG8階 市民活動センター会議室

主催：結婚教育カウンセラー 管東佑衣子

後援：NPO日本結婚教育カウンセラー協会、NPOわははネット

内容：

**13:30～13:35 挨拶 結婚教育カウンセラー 管東佑衣子**

○自己紹介

- ・11年前に、縁結びバー「テンダリー」を開設。独身の若い人が集まる場を提供。すぐにカップルが誕生していたものが、2～3年前からは、カップルが出来にくくなってきた。
- ・ネット検索で「日本結婚カウンセラー協会」に出会う。協会で学んできたことが、若い人たちの指針になること、心に響くことがあるのではと。

○ドラマ「やさしい花」との出会い

- ・今年の2月のフォーラム 全ての人に優しい世界 ドラマ「やさしい花」に出会う。
- ・児童虐待は、ヤンキーママがうっぴん晴らしをしているのかと思っていたのが、まじめなママたちが、頑張りすぎて、コップの水があふれるときに手をあげてしまう背景を知りました。
- ・2001年の大阪でのみ放映された。とにかく多くの方、香川の人に見てもらいたく、本日の上映会。

○今日の上映会への思い

- ・2015年、児童虐待243件、前年に比べて37件の増加。数字には関心がありません。なぜなら、虐待を受けた子供の一人ひとりの心の方が心配です。
- ・ドラマに対する正解はないと思う。
- ・「お願いします」「手伝ってください」と言える自分づくり、困っている人に手を貸してあげられる自分づくりにつながれば。
- ・多くの方々、NPOわははネット、日本結婚教育カウンセラー協会、な一ちえ、受付の支援をいただいたの方々などに感謝の気持ちでいっぱい。

**13:35～13:39 挨拶 日本結婚教育カウンセラー協会 棚橋美枝子理事**

- ・奈良から来ました。香川に着き、すぐにうどんをいただきました。
- ・奈良県は、専業主婦率、男性の県外就労が全国1位。虐待の比率が全国2位だったりする。
- ・私は、もとは看護師。2001年から夫婦問題のカウンセリングの場を提供。
- ・「どうして結婚を学校で教えないのか。学校で教えていたら、もっと上手に結婚できた。夫から離婚されはしなかった。親が言っていることを言っただけなのに」とのお母さんの言葉。
- ・2012年に協会を立ち上げました。3名のカウンセラーとこちらにきました。
- ・奈良では、結婚教育 みんなが帰りたくなる家づくり、相談できる人がこんなところにいるというマップづくり。
- ・管東さんは、香川で一人の結婚カウンセラー。

**13:39～13:42 NPOわははねっと 中橋理事長**

- ・ 3日ほど前のニュース、ドイツが10年ぶりに出生率が高水準に。家族支援に力を入れ、出生率があがってきたとの報道。
- ・ 日本は、まだまだ「子育て支援」と子供を中心にしている。夫婦や家族の問題として見られていない。「子育て」「介護」など、家族の問題が、お母さんのせいと環境のせいにされる。
- ・ 子どもは地域の子ども、みんなで見守り育てていこうという雰囲気が出来たらいいなあ。
- ・ 手をあげているママを攻めるのではなく、「助けてあげられなくてごめんねえ」という地域になれば。

**13:42~13:44 県会議員 山本悟史 少子化対策特別委員会委員長**

- ・ 少子化対策特別委員会の委員長。県の職員任せにせず、県の政策に提言できるように取り組んでいる。
- ・ Facebookでは知っていたが、管東さん。中橋さんと同級生。
- ・ 家族の問題、家族だけで抱え込まず、周りが気づいてあげることで変わってくるんだなあ、しっかりと勉強したい。

**13:44~14:27 ドラマ「やさしい花」の上映**

- ・ ドラマは43分ほど
- ・ NHK大阪で放映された。

○ストーリー（ホームページ「NHKドラマ」より）

- ・ 大阪のマンションに暮らす木原友子（石野真子）と卓也（西川忠志）の夫婦。今は娘の葉月（早織）も独立し、夫婦水入らずの幸せな生活を送っている。しかし20年前、卓也が家庭を顧みず、友子が育児ストレスから当時3歳の葉月を虐待。児童相談所の助けを受けて家族関係を立て直した過去を持っていた。
- ・ ある日、木原家の下の部屋に若い母親・ユカ（谷村美月）と小さな男の子・ミツル（國分健太）が引っ越してくる。夜になると子どもが泣き叫び、母親の暴力を目の当たりにした友子は、自分と娘とのつらい過去を思い出し、救いの手を差し伸べようと考え始める。他人の家庭にどれだけ関わるべきなのか？素人に何が出来るのか？と躊躇する毎日・・・。
- ・ ある夜、ミツルが泣きながらせき込む声が聞こえ、たまらなくなった友子は、ユカの部屋の隣に住む大学生・将志（木咲直人）とともにユカの部屋に入る。吐いて熱を出していたミツルを介抱し、ホッとしたのもつかの間、帰宅したユカに「あんたらに何が分かるんよ！ほっといて！」と協力を拒絶されてしまう。
- ・ 悩んで過呼吸で倒れた友子を夫の卓也は「関わるな！」となじるが、駆け付けた娘の葉月は、「あの子のことを考えてやって・・・」と友子の背中を押す。そして、ある出来事をきっかけに、友子は、勇気を出して若い親子を助ける行動に出る…。

- ・ 「鍵開けてきたやんか」
- ・ 「子供はかわいいけれど大変や」

**14:28~14:33 安田真奈監督（「やさしい花」を脚本）**

- ・ 2011年 大阪で置き去りで子供ががし。なにが人情の町大阪やねん。
- ・ 「報道特集」では、本当に虐待に興味のある人しか見てくれない。ドラマなら、石野真子が好きな方など、より多くの人にドラマなら見てもらえる。

- ・先ほど監督と紹介されたが、「しあわせのスイッチ」の監督はしている。「やさしい花」は脚本を手がけた。
- ・高松観光したことないし、バスなら安いし、今朝6時に大阪を出て来て、栗林公園で朝御飯を食べて、高松城で1時間半ほどボランティアのおじさんお話を聞いて、このあとは金比羅さんに行こうと・・・。
- ・私も、育児鬱になりそうで、誰もが陥りそうなこと。
- ・児童虐待は、ヘビーな印象で、自分とは遠いものと思うが、いっぱいいっぱい土日泣いていたが、月曜から金曜は大丈夫だった、そんなずっと見ていたら、親子の関係も見える部分があり、通報するだけでないことが・・・

#### 14:33~14:40 休憩

#### 14:40~15:22 テーブルワーク ドラマを見ての感想などについて意見交換

##### ○グループ1

- ・母も子どもも、人に認められたい。
- ・男性と女性の子育てに対する意見が違う、姿勢が違う。
- ・父親と子ども、母親と子ども、父親と母親の距離が大切で、相手のことを見てあげるべきだ。

##### ○グループ2

- ・バツイチやまさにドラマのような状態の人がおり、ドラマの内容が自分に重なって涙が出た。
- ・どの程度の事になると相談所に相談に行けばいいのか、わからない。
- ・「児童虐待」と「介護虐待」は通じるところがある。まじめで、助けを求められない人が、虐待に。
- ・児童虐待も介護虐待も、家族、地域、組織が、顔のわかる関係になることが大切。

##### ○グループ3

- ・一人目の育児では「こうしないといけない」と自分の中でルールを作り、こうならないことに手を挙げてしまい、妻に手助けできていないことに反省。二人目、三人目の子育てでは反省。
- ・ドラマのようなことは、身の回りであってもおかしくないこと。
- ・地域で「介護」と「子育て」のダブルケア。地域で助けられたら。

##### ○グループ4

- ・相談に行ける人はまだ余裕がある。追い詰められている人は相談に行けない。
- ・大阪なので、まわりの人は助ける地域性があるが、香川ではどうだろうか。
- ・専門家でない自分は、専門家（役所）に通報も。行政が出来ないところを、地域がどうやっていくかが課題。
- ・本当に困っている人には、必要な情報が伝わりにくい。

#### 15:22~15:29 挨拶 顧問 西香川病院 大塚先生

- ・日本結婚教育カウンセラー協会の棚橋さんと高校の同級生が深意にしてもらっている。
- ・専門が認知症で、2月に講演。安田さんもパネリストで市民人権フォーラム「すべての人に優しい社会をめざして」のパネルディスカッションを奈良で。児童虐待、高齢者の介護虐待
- ・お母さんの抱えている課題は、家族の課題と重なる。愛情があり、思いを込めすぎて虐待に。

「善意の加害者」と高齢者介護では言う。

- ・行政や専門家だけで支えられるものではない。地域の住民さん同士で支えていく事が出来ないと難しい。
- ・介護保険も一人あたりのサービスは小さくなっていく（予算に限りがあるので）ので、地域で支えないと大変なことになる。2000年頃からは、介護保険制度が始まり、専門に任せればいいとの風潮になり、介護保険が破綻したら大変なことになる。
- ・そうならないように、地域で支え合えるようにと、香川で頑張っている。

15:29~15:33 結婚や子育ての「そもそも」を学ぶ 管野佑衣子

- ・じいちゃん、ばあちゃんから、「妊娠中は髪は染めるな」「産後のひだちにさわるのでお母さんも子どもも外出してはいけない」と、色々なことを教えられていた。
- ・「幼少期から老年期までの人生の9期」

-以上-

もう、一人で悩まないで

## 児童虐待ドラマ「やさしい花」上映会

頑張るママたちに♡贈る言葉♡があります



<b>入場 無料</b>	日程	2016年7月3日(日)
	時間	13:30~15:30(受付13時15分~)
	会場	瓦町FLAG8階市民活動センター会議室
	講師	結婚教育カウンセラー 管東佑衣子

**セミナー内容** | ・児童虐待ドラマ「やさしい花」上映会（NHK大阪にて放送）・グループワーク

ご予約・お問い合わせ：テンダリー愛育プロジェクト

TEL 090-7785-4799

住所 高松市亀井町3-8 APOINTビル3F

後援 NPO法人日本結婚教育カウンセラー協会  
NPO法人 わははネット  
なあ〜ちえ

